



碧南ロータリークラブ週報

第2264回例会 平成17年4月13日(水) 晴. 最高17.7℃. 最低9.0℃

- 会長 池田 弘孝 ● 幹事 黒田 昌司 ● SAA 小笠原良治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 鶴田光久・杉浦昌裕・石川唯司・竹中 誠

ロータリーを
祝おう

100年の歩み

2004~2005年度
国際ロータリーのテーマ



● 斉 唱

ロータリーソング 「我らの生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

彩日会会長・碧南美術会会長 生田文治郎様



池田弘孝会長

会 長 挨拶

最近無理心中事件が多いような気がします。知多市で起きた事件では、新学期前の残された赤と黒の二つのランドセルが涙を誘います。新聞によりますと「職人かたぎが裏目に」と書かれていました。建設業界であらゆる業種において職人といわれる人が少なくなってきました。特に鉄筋工はコンクリートを流し込みますので仕事振りは後で見るとは出来ません一番地味な職種です。しかし建設では一番重要で正確な仕事を要求される場所です。一流の職人の腕が経営に生かされる時代を望みたいものです。

はたらけどはたらけど

猶わが生活楽にならざり

ちっと手を見る

人間の普遍的なしかも無意識の行動をつかまえて歌にした石川啄木の代表作のひとつです。みんな困ったときは足をみたりしなく、何となく手を見るそうです。このように、楽にならない貧しさの問題を社会改革という方向でつきつめようとしていた啄木が若くして息をひきとったのが、1912年（明治45年）4月13日です。今から丁度93年前の今日です。明治末の日本の一般民衆の暮しが容易でなかったことが、寂しかった啄木の葬儀から察せられるそうです。93年経ってもいまだに社会改革は進んでいません。無理心中のない みんながそれなりに生きられる世の中であってほしいものです。

それから、報告事項がございます。

- ・ 4月10日にクロアチアの副首相一行が来碧されまして、公式セレモニー、行事等がございました。
- ・ 4月11日には、クロアチア共和国ナショナルデー前夜祭が開催されました。
- ・ 4月12日に、クロアチア共和国ナショナルデーが万博会場で開催され、これには、黒田昌司君が2005年愛知万博フレンドシップ文化等交流事業実行委員長ということで、主になって、活動をされました。また、平岩統一郎君も碧南市友好親善協会会長ということで、ともに3日間おつきあいをされました。大変、ごくろうさまでした。

・4月11日にR I 第5370地区G S Eチームが訪問され、歓迎会並びにオリエンテーションがございました。これには、西三河が世話をする担当になっていましたが、当クラブは他の行事と重なり無理でしたので、担当をはずしていただきました。しかし、次年度以降の担当の際は、碧南クラブは、優先的に担当していただきますので、という申し送りがございましたので、その際は、よろしく願いいたします。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更につきましては、お手元の資料を
- ・ご参照いただきたいと思います。
- ・理事会の報告をいたします。

①3月度収支については、承認可決されました。

②2005学年度の米山奨学生 祭於今（サイ ヨキン）

さんの担当カウンセラーについては、長田昌昇次年度
米山記念奨学委員会委員長になっていただくことが承認可決されました。

③国際親善奨学生推薦について

杉浦清治（きよはる）さん 大阪大学法学部4年生を推薦することが決定されました。



黒田昌司幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 77 名（内出席免除者 15 名）出席者 60 名	
出席対象者 49 / 62 名	出席率 79.03%
欠席者 17 名（病欠者 0 名）	前々回修正出席率 98.39%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

黒田 昌司君 万博フレンドシップ事業では、碧南RCさんに大変お世話になりました。
加藤 知彦君 卓話講師彩日会会長・碧南美術会会長生田文治郎先生をご紹介します。
新美 雅浩君 先日の日曜日、万博長久手会場愛知県館で自己のバンド（レアサウンズ）が演奏をさせていただきました。たくさんの皆さんにスイングしてもらいました。
早退 5 件 合計 11,000 円

卓話

「二足のわらじと彩日会」

彩日会会長・碧南美術会会長 生田 文治郎様

みなさん、こんにちは 只今ご紹介を頂きました彩日会の生田文治郎でございます。

このような伝統のある席でお話のできますことを厚くお礼を申し上げます。1月のこと、加藤知彦さんからお話がありました。いろいろ考えましたが、彩日会のこともあり、自分史を中心とした絵の話をさせていただきます。只今79歳と10ヶ月、あと2ヶ月で80歳になります。私の話は、皆さんのお父さんが高校生の頃から始まります。

1. 人との出会いを大切に
2. 協力という宝物を育てる

この2点をいつも大事に守っています。

お蔭様で碧南市内では、警察署の外に碧南高校、南中、中央中、東中、西端中学校、棚尾小、中央小、中部公民館、碧南市役所 100号・50号 計11点
他に、一色町公民館、愛知県互助会館 2点



生田 文治郎様

計13点の展示をさせて頂きました。

絵の話になりますが、今から60年前のこと昭和20年頃、板倉賛治先生が、新川の銀座、藤井印房さんの2階で絵を描いてみえました。先生は図画の教科書に静物画が載っており、全国的に有名な先生でした。早速お伺いをしました。それから先生のお供をして新川港の河口、大浜の塩田等でスケッチをしましたときの作品が残っております。その後先生は、東京のご自宅へお帰りになりました。また、新川の道場山には海岸近くに藤井達吉先生のお宅がありました。大浜の表具屋さんの祢宜田さんにお供をしてお伺いをしたことが1回ありました。その頃大浜に美術学校を出た先生がみえるということで、商工会議所の近くに先生のお宅がありました。絵の好きな人達が自然と集まってきました。鈴木武久、永井千秋、石川松男、杉浦明男、鈴木盛夫、久田治男さん等の顔が揃い、鈴木博尊先生を中心に碧彩会を結成して商工会議所の2階で展覧会を開きました。後に鈴木博尊先生は大阪へ・・・・・・・・

二元会の会長として全国적으로活躍されました。

碧南市制57周年記念の式典が4月5日に開かれましたが、昭和23年4月に碧南市が誕生いたしました。市となって、碧南文化協会の発足となり加藤知彦先生のお父さん加藤潮光先生が会長とされました。先生は、日展の彫刻に入選をされ、大活躍をされました。

碧南高校、書記心得へ

この23年4月1日から私は碧南工業学校、碧南高校となりましたが書記心得として採用されました。ところが新制高校として発足をしましたが、美術の先生がない、校長先生が八方手をつくしてさがされたが、先生がないということになりました。美術の授業ができない、生徒はみんな遊んでいる状態、さらに通知表の採点ができない。これは、進学ができないこととなります。校長先生が私に、生田さんは絵の会の会員でしょう。県へ行って相談をします・・・・ということで非常勤講師（1年）という辞令が出ました。これは大変なことになったと思いました。事務の仕事も1年生・・・・教室1年生～3年生=100以上 通知表 1～5に分けての採点。この採点が大変でした。

さて、絵が出来ますと見て頂きたくなりました。この頃、新川にブラックという喫茶店ができましたので、早速、展示（2～3点）をお願いしました。その頃新川に「碧」あおみというローカル新聞を発刊していた板倉さんという人がみえました。新年号に「将来の碧南」という募集をされました。記憶ですが「将来近くに飛行場ができて飛行機が飛ぶようになる」投票をしましたところ1位になりました。「残念ながら当時の新聞はありません」

この平成17年2月27日には中部国際空港が開港になりました。

美術部の部員として、
元商工会議所の会頭 樫山善久様
螢光書林の杉浦信之さん
岡田 了さん

寺津の加藤正巳さん等がいらっしゃいました。

碧南高校6年で転校 刈谷北高へ

刈谷北高校は、新須磨駅から刈谷市駅約30分、駅から徒歩で15分というところでした。刈谷市駅を降りて通学路に富士洋服店の店がありました。ここに、鈴木順一さんという絵を描いている人が働いておりました。この鈴木さんと私とは、絵の無二の親友として現在も続けております。結婚の話が出ましたときに店主の石川さんのお供をして、娘さんのお父さんと会いました。その席で「鈴木さんは、将来立派な画家になりますから、結婚をお願いします。」と言ってしまったのです。（結婚OKとなりました。）

これが、平成15年～17年実現してまいりました。

・一水会会員・・・・・・・・・・本年中に一水会委員になります。

- ・日展は特選2回。審査員となる。
- ・16年日展会員となる。

刈谷北高校では、事務職員から事務長になる。 12年

昭和34年に鈴木順一先生を中心に彩日会を結成しました。メンバーとして、漸井文平、水野表子(知多) 所 征男(刈谷)さんがいます。

西尾高校で事務長として、3年勤務。

知多教育事務所庶務係長兼管理課長として、5年勤務。

愛知県教育委員会で高等学校副長として、3年勤務。

西三河教育事務所管理課長として4年勤務。

昭和57年3月に退職となりました。

この間、仕事をしながら、絵の制作活動をするという「二足のわらじ」の生活をしていました。

退職後は、昭和58年4月～平成3年3月までの8年間、刈谷市美術館の指導員として、勤務しました。この間に企画展として、「杉本健吉先生展」、「市川晃先生展」、「藤島実先生展」を展示しました。

その後、10年、河合塾美術研究所へ生徒として通いました。

- ・NHK名古屋放送局2Fで彩日会小品展を開催
- ・NHK厚生文化事業団中部支局で年末たすけあいチャリティ展に出品
- ・碧南市民病院内に碧南市民ギャラリーで作品展示

平成17年3月

第50回記念中部一水会展が開催され、彩日会もかなり関りをもちました。

- ・審査員(彩日会) 漸井、鈴木、所、生田 (13名中4名) 1/4
- ・受賞 佳作賞 池田、外山、田村 (13名中4名) 1/4
新人賞 谷澤
- ・出品者 137点中29点 1/5

ごらんのようにかなり活躍しております。彩日会の会員も17年4月8日現在で140名います。現在、この彩日会と碧南美術会の会長を務めていますが、この会をそれぞれ運営していくのにも、人との出会いを大切に、またそれぞれ協力をしあって、いかなければスムーズにいきません。これからもこの二つのことを思っていきたいと思えます。また、年間4枚の絵を描くという目標を掲げていますので、のんびり過ごしては、おられません。これからも張り合いをもって過ごしていきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

生田文治郎氏 画歴

彩日会会長(45年)	会員140名	中部一水会会友	44回展中部一水会賞
碧南美術会会長	会員50名		45回展審査員
一水会会友	入選37回	知立市美術展審査員	
	佳作賞受賞	トヨタ自動織機 絵画部 講師	
		彩生会、翔生会講師	

次回例会案内 平成17年4月24日(日)
万博例会「愛・地球博」ロータリー館